

## 全体的な考察

◎成果 ◆今後の改善点

- 今年度は、『つなぐ』をキーワードに『世界とつながる神小っ子』をスローガンに学校経営をしてきました。
  - ◎各学年の教科の学習や総合的な学習の時間、伝承文化クラブ活動等で、地域の人とかかわりながら学ぶ活動、地域に出かけ見聞を広げる活動を大切にしてきました。子どもたちは地域の方々や地域そのものと様々な形でかかわり、交流を深めながら、楽しさや喜びを実感しふるさと神町の良さを実感できました。また、縦割り遠足で異学年交流を深め、同時に6年生のリーダーとしての自覚も高まりました。保護者の皆さんからも評価の高い縦割り班活動は今後とも充実させていきたいと考えます。
  - ◎校内研究テーマ「教材・仲間・自分とつながる子ども」～探究的、協働的に解決する学習過程の工夫～を掲げ、10月21日には、市委嘱公開研究発表会で、子どもの生き生きと学習する姿を多くの方々に見ていただきました。子どもたちが、対話しながら協働的に課題を解決していく授業づくりと教科担任制による教師の授業力向上の取組は、高い評価を得たところです。今後も温かな学級づくりを基盤にしなが、「分かる授業、楽しい授業」に力を入れ、確かな学力を身に付けさせていきます。
  - ◎今年度は、永年にわたる学校、家庭、地域が一体となった安全運動への取組が認められ、県交通安全功労者表彰、優良PTA表彰を受賞しました。これも、子どもの安全のために、親子自転車教室、朝の立哨、不審者パトロール等に快くご尽力いただいた皆様のお陰と心から感謝申し上げます。「自分のいのちは自分で守る」意識を高めるために、今後も力を入れていく所存です。
  - ◎詩の暗唱への積極的な取組 ◎HPアクセス49万件突破 ◎ようこそ先輩講演会 ◎読み聞かせなどの読書活動の推進
- ◆今年度は、以下のような課題がありましたので、次年度に対策を講じていきます。
  - 心が通う明るい挨拶の日常化と地域とつながる挨拶運動の推進
  - 運動能力の課題克服のための体力づくりの具体化
  - ICTを活用した学習とネットモラル等の情報教育の推進
  - 神町中学校区3校連携による「いじめのない学校づくり」推進事業の継続

## 学校評議員会でのご意見

- 公民館主催の「年中行事あれこれ教室」は、核家族化に対応して、前から伝わっている行事を年10回行っている。地域に残るそれぞれの行事の意味や願いは、やはり大切であり、ぜひ伝えていきたい。
- 昔と今の教育は変化した。どれだけ今の学校は努力しているのか、世間はあまり知らないと思う。その学校の努力を地域や学校外に伝えていくことが、大切だと考えている。
- 保護者みんなが関わることで情報が共有できる。親同士のいざこざでいじめに発展ということもある。親同士でよその子の文句を言わないことが大切。子ども同士のいじめも親が関わって解決していきたい。
- 大人でも自分から挨拶できる人は少数。子どもから挨拶するのは更に少数になるのではないかと思う。挨拶運動は強制的にではなく、自然にできるようにしていきたい。特に「自分から先に挨拶」を、子どもに意識させるには、まず、大人が手本にならなくてはならないと思う。

## 来年度に向けて

神町小学校は、これからも子どもたちの良さを認め伸ばすことを大切にされた教育を実践していきます。そのために、次のことに力を入れていきます。

- 1 仲間の考えを肯定的に受け止め、一人一人が認められる温かい人間関係に支えられた学級づくりに取り組みます。
- 2 見通しをもって課題に取り組み、仲間と対話を重ねながら、見方、考え方を深め広げる学びを推進し、確かな学力を育てます。
- 3 地域の教育力を生かした特色ある学校文化を創造し、地域を愛し、地域の未来を前向きに考える心と態度を育てます。
- 4 学校・家庭・地域の連携による安全に関する情報の共有と共通指導を徹底し、安全安心な学校づくりを推進します。

学校と家庭と地域の共育で、やさしくかしこくたくましく世界とつながる神小っ子を育てましょう。

平成28年度

# 学校評価特集号

東根市立神町小学校

平成29年3月10日

TEL 47-0035

FAX 47-0275

## アンケートへのご協力ありがとうございました

日頃から本校の教育活動について、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。神町小学校では、学校教育目標「心豊かに共に学び世界とつながる子どもの育成」スローガンに「世界とつながる神小っ子」を掲げ、3つの経営の重点に、日々の教育実践に努めてまいりました。今年度から、評価項目を10項目に変更しましたが、ご協力いただいたアンケートを分析・考察した結果、学校の運営の仕方、教育の質の向上、児童の健全育成に向けて更に努力すべき点が明らかになりました。保護者の皆様から頂戴したアンケートの結果をもとに、十分達成しているという成果は更に伸ばし、課題は具体的に対策を立てて改善していきたいと考えております。また、学校と家庭そして地域との連携を十分図りながら来年度の学校づくりに邁進していきたいと思っております。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 平成28年度学校経営の重点と具体策

- 1 心豊かな子ども 心と心がつながる学校【いのち】
  - ・あいさつ運動と体験活動
  - ・認められる集団づくり
  - ・教育相談の充実
  - ・読書活動の推進
  - ・健康に関する自己管理能力の育成
  - ・安全教育の充実
- 2 共に学ぶ子ども かわり合い共に学ぶ学校【学び】
  - ・確かな学力の育成
  - ・教材、仲間、自分とのつながり
  - ・探究的、協働的な学習過程の工夫
  - ・ICT活用と情報教育の推進
  - ・外国語活動の工夫
- 3 世界とつながる子ども 仲間・地域とつながる学校【仲間・地域】
  - ・児童会や縦割り班活動の交流
  - ・地域とつながる活動
  - ・環境教育の実践
  - ・小小・小中連携による学力向上プラン
  - ・幼保小連携によるスタートプログラム

重点研究テーマ 3年目

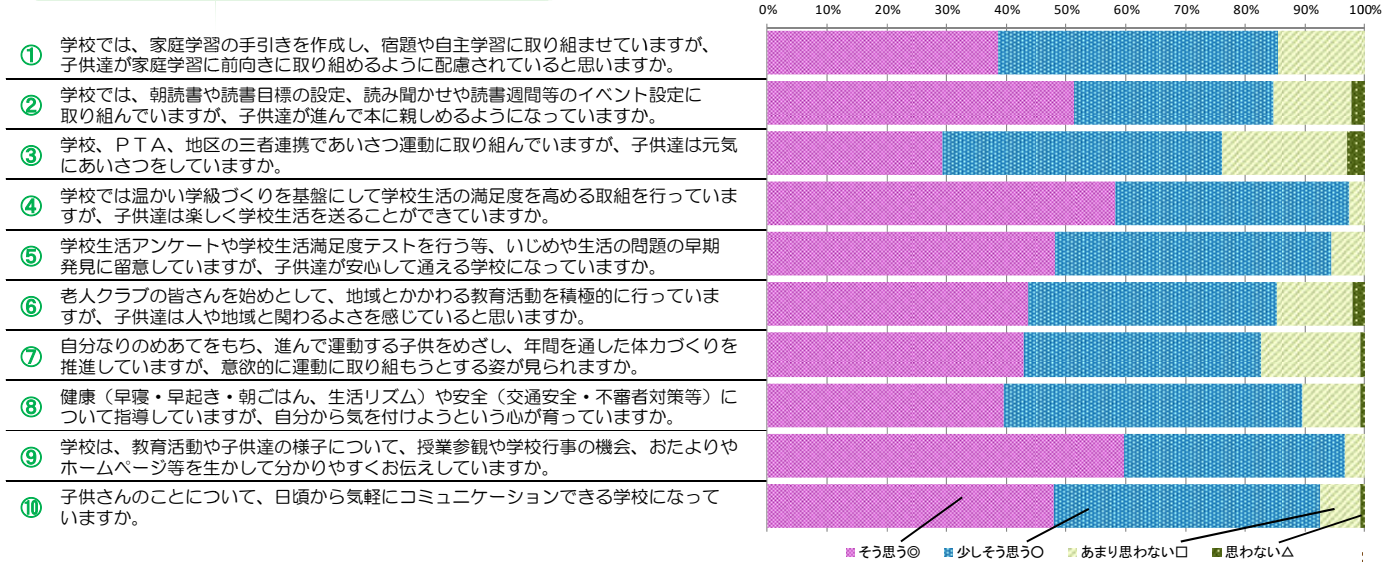
教材・仲間・自分とつながる子ども

～探究的・協働的に解決する学習過程の工夫～

めざす学校像

世界とつながり、みんなのいのちが輝く学校

## 保護者アンケートの集計結果と考察



### ◆記述欄から

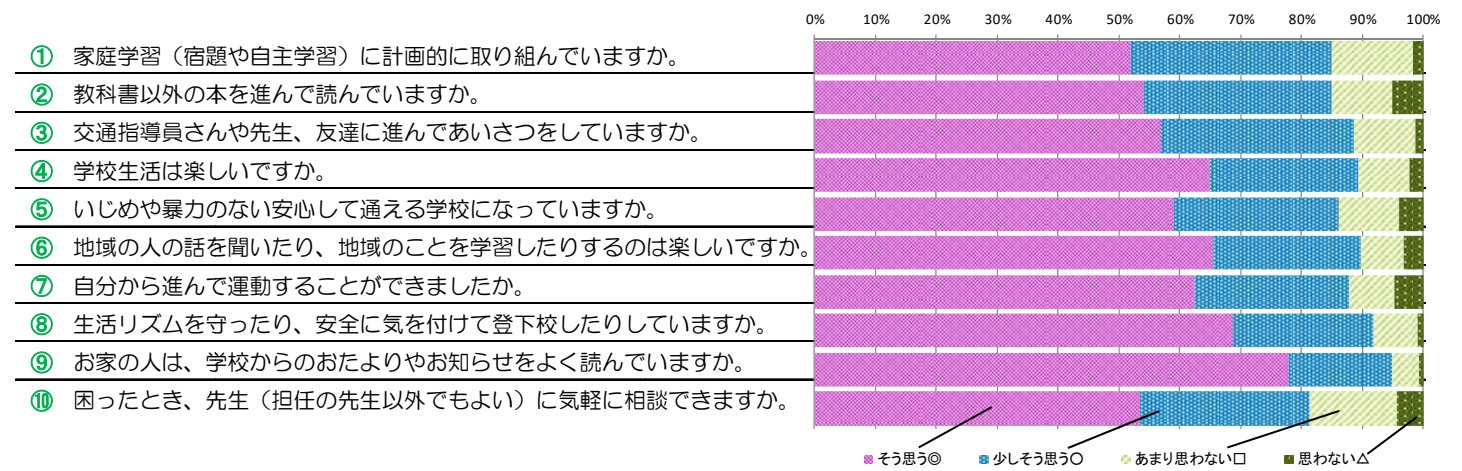
- 何か問題が起きたとき、いつもすぐに対応していただき、解決に向けて相談にのって頂き、ありがたく思います。しばらくたってからの様子はどうか、子どもに聞いてもあいまいなところがあるため、知らせてもらえたらと思います。
- 今、いじめなどの問題が多発しています。先生方の威厳を明確にしていきたいです。駄目なものは駄目、いいものはいいと叱るときは叱っていただきたいです。
- 学校での様子を細かいことでもなんでも話せるような家庭環境を心がけていきたいなと思います。他の子どもでも、自分の子どものように接することができるのであれば理想だなと思います。
- 通学時の様子を毎朝見ているのですが、途中で列が乱れたり、ふざけたりすることがあるようです。とても交通量の多いところを歩いていくので、十分注意するよう声をかけています。
- 親子で体を動かす事を継続してできるようにしたい。楽しく、長くできる事を、毎日の中に取り入れる工夫を親子で考えなければと思いました。ダンスなど。
- コミュニケーションの時間を取り、子どもに変化がないか気を付けて見ていきたい。気になることは先生方に相談するなど早目に対応できるように心掛ける。
- 学校などではあいさつはしっかりできていると思うが、自宅近くではあいさつをしない子もいる。また、大人も声を掛けられないこともあるので、恥ずかしがらずに大人もしっかりと挨拶しなければならないと思う。

### <分析・考察>

- 項目3「元気なあいさつ」は、10項目の中で1番低い結果になりました。あいさつは相手の心へのノックであること、「あかるく、いつも、さきに、づけて」を意識させ、児童会や三校でも取り組んできました。保護者の方の期待度が大きい項目でもありますので、明るい挨拶、場に応じた挨拶の習慣化のために、学校での生活場面の機会を捉えて、今後とも力を尽くして参ります。
- 項目6「地域と関わる活動」では、学校では、各学年で、実際に地域に足を運び、地域の様々な立場の方から学ぶ学習を重視しています。ふるさと神町の良さを実感し、「We Love 神町」と誇れるように、りんご作り、蚕の飼育、伝承文化クラブ活動、地域の高齢者介護施設や幼稚園保育園訪問などの交流体験活動を取り入れてきました。また、母校への愛着を深めるために、本校出身の講師を招いた「ようこそ先輩講演会」も今年で2回目を迎え大盛況でした。ご家庭でも、ぜひ地域や子ども会関係の活動への参加を奨励していただければと思います。
- 項目4「温かい学級づくりと満足度を高める取組」については、10項目中1番良い評価を得ています。Q-Uテスト（学校生活・学級満足度調査）で子どもたちの学級での様子を分析し、望ましい人間関係づくりのために、月1回の心の安全点検などを活用して、児童理解に努めています。また、項目5の「いじめ防止対策」との関わりを重視、アンテナを高く張って、問題の早期発見、早期対応に努めて参りました。

- 項目7「めあてを持ち進んで運動」の項目は、マラソン、縄跳び、体力作りなど、めあてを持たせて、努力する子どもを育てるために、カードや発達段階を考慮した学習を進めてきました。本校の課題である「ボール投げ」「持久力」についても、短期目標を立てて対策を講じています。
- 今年度はHPアクセス数の目標50万件達成がもうすぐです。一日約400件以上という、フォローアーの皆様へ、子どもたちの学習や生活の様子をたくさん知っていただき、成長の様子をいただいたと思いません。緊急時の情報等を素早くお届けするために、一斉配信メールも活用していきますので、今後ともご理解ご協力をお願いします。

## 児童アンケートの集計結果と考察



### <分析・考察>

- 項目10「困ったとき先生に相談すること」で、2割弱の児童が「あまり思わない」「思わない」と答えていることを重く受け止めています。1～6年までの発達段階を考慮しながら、月毎の「心の安全点検」や、担任が子どもと向き合う時間を十分に確保し、教師自身も児童理解に努め、相談しやすい関係づくりに一層努力していく必要があります。アンケートの記述から、「いじめや暴力のない楽しい学校」を子どもたちも強く望んでいることを学校全体でも受け止め、神町中学校区の3校のいじめのない学校づくり運動を、児童会の活動を中心に、しっかり浸透させていきたいと考えます。
- 項目7「自ら進んで運動」は、年間を通して、グラウンド走や縄跳びなどの体力づくり、P保体部と連携してめあてを持たせて運動する楽しさを自覚させて取り組んできました。「思わない」と答えている児童も多いことから、さらに、縦割り班活動での楽しい交流を通じた運動、自分の運動能力の伸びをしっかりと自覚できる取組等を工夫していきたいと考えます。
- 項目3「元気なあいさつ」は、自分から進んで先にあいさつすることに力を入れてきました。9割弱の子どもが「そう思う」「少しそう思う」と答えています。保護者との見方（低い評価）とずれがありますが、保護者の期待も大きいことから、児童会を中心としたあいさつ運動への取組を工夫し、場に応じたあいさつがしっかりできる子どもをめざしたいと考えます。
- 項目4では「学校は楽しい」約9割が「そう思う」「少し思う」と答えています。前年度までの共通する項目として比較しても過去最もよい結果が得られました。この項目は保護者アンケートでも同様に高評価だったことから、本校の「つながり」を大切にされた様々な教育活動が成果を上げているととらえています。縦割り活動を推進し、異学年の仲間との人間関係づくりのスキルを学ぶことで、さらに「楽しい学校」が実現できるものと考えます。今後も子ども同士によりよい関係づくり、いじめ撲滅等にも積極的に取り組んでいきます。